

○市民が関わった会議等における森林、自然、環境、エネルギー等についての意見、提案、要望一覧

番号	1	2	3
会議名	スーパーシティ構想の応募に向けた市民説明会	松本市環境審議会	「令和2年度 松本市農業施策に関する意見書」 市長との懇談会
会議の目的	スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定への応募に向けた基本的な考え方の説明と意見等を頂くこと	環境の保全等に関する基本的事項について調査及び審議するため	
会議設置期間	令和3年2月24日、3月1日	平成10年4月1日～	R2.11.13
構成メンバー		学識経験者、公共団体等の役職員、関係行政機関の職員、公募委員 計20人	松本市農業委員
市民からの意見・提案・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立公園では環境を守るべきであって、発電所をつくるべきではない。考え方が違うのでは ・ カーボンニュートラル事業は大変結構ですが、太陽光や地熱、小水力など広面積での設置は環境破壊や景観保護に抵触する可能性があります。事業者が利潤に合わない開発をするかが問題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本に自然環境に関する教育を行ってほしい。元.6.6) ・ 松枯れに対しては、根本的な検討が非常に重要になっていく。また松の利用ということも併せて、少し範囲を広げて、考えていかなければいけないのではないではないか。(R2.6.29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥山は財産区有林とか市有林で間伐が進んでいるが、里山は遅れている。松枯れ対策と兼ねて里山整備も一緒にできないか。 ・ 松枯れによる倒木で鳥獣防護柵の維持が地元では困難
担当課	DX推進本部	環境・地域エネルギー課	農業委員会事務局

番号	4	5	6
会議名	松くい虫被害対策に係る市民アンケート (空中散布賛否)	地区松くい虫対策協議会 (6協議会、四賀、岡田、本郷、里山辺、入山 辺、中山)	松本「シンカ」推進会議
会議の 目的	令和2年度の松枯れ対策について、令和2 年4月14日の市議会臨時会及び記者会見 における市長発言を踏まえ、市民アンケートを 実施したもの	〇〇地区において松くい虫における松林お よび林産物への被害を調査し、被害拡大を 防ぐための方策を研究するとともに被害拡大 防止事業を推進し、地域の振興を図ること。	基本構想に掲げる基本理念「三ガク都に象 徴される松本らしさのシンカ」の実現に向け て、市民と共に取り組むため
会議設置 期間	R2.4.22-5.5	令和元~3年度	令和3年6月28日~令和5年3月31日
構成 メンバー	松本市民 1,367件	正副町会長、林業関係者、地区住民等	大学教員、専門家、町会連合会の代表等
市 民 か ら の 意 見 ・ 提 案 ・ 要 望	<p>・今後の対策で伐採した木の有効利用を考 え、新しい樹木を植えることの方がよほど効 果がある。特に山崩れなど起こさないよう広 葉樹が大事</p> <p>・若い樹木であれば、疫病や害虫に負けない 強い山になります。松枯れ材を切り出し、適切 な処理を行えば、材としての価値も出ます。農 薬散布ではなく、持続可能な山を目指してく ださい。</p>	<p>〇更新伐や特殊地拵えを行い、クヌギが生え てきた。その後、アカシアが伸びてきたが下 刈りを行い良くなった。あと4~5年するとも と良い山になってくると思う。</p> <p>〇山林の保全に対し、山林所有者の関心が 薄いことが気がかりである。</p> <p>〇山に対する関心が低いのが現状。多くの 人に山を残していくよう、関心を持ってもら いたい。</p> <p>〇木質バイオマスとしての活用を促進する施 設や木材活用の推進してほしい。</p> <p>〇昔と違い山林への関心が低いこともあり、 相続問題、所有者不明、境界の明確化など 引き続き課題となっている。</p> <p>〇山林への太陽光パネルの設置など開発が 行われないか心配</p> <p>〇松くい虫にとどまらず、山林の荒廃、生活安 全環境の面について、学習の場、話し合いの 機会等を設けてほしい。</p> <p>〇千鹿頭山森林公園を守って行ってほしい。</p> <p>〇被害の拡大に伴い、土砂災害の指定、保安 林の指定となっている箇所の今後の災害が 懸念されるため、治山事業をしてほしい。</p> <p>〇森林再生と言っているが、今必要な対策と、 これから先に向けた対策を分けて考える必要 があると思う。</p> <p>〇次の時代のために方策を考え、予算を使っ ていただき、見える形の目標を立ててほし い。</p> <p>〇森林再生について、実行会議で検討される ことを期待します。</p>	<p>〇カラマツ材は今、材として好評であり、利活 用の施策は非常に良い。松本産の呼称を独 自に設定するなど、付加価値をつけてブラン ディングしてみてもどうか。(R3.6.28 基本 計画案「4-4 森林の保全・再生・活用」への 意見として)</p>
担当課	森林環境課	森林環境課	総合戦略室

番号	7
会議名	松本市基本構想2030市民会議
会議の目的	松本市の新しいまちづくりの指針となる松本市総合計画を策定するため
会議設置期間	令和2年7月9日～令和3年8月26日
構成メンバー	大学教員、専門家、町会連合会の代表等
市民からの意見・提案・要望	<p>(令和2年8月3日～8月6日までの間に開催した3部会の意見を集約したもの)</p> <p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民が自然環境に価値を感じていない ●地元の人がアルプスに対し価値を感じていない ●自然環境や緑をないがしろにしている ●産廃処理場などを自然豊かな郊外に設置するなど、地元の方は、松本にとっての本当に大事な自然環境、緑をないがしろにしている。自然豊かな場所に産廃処理場などがあると松本のイメージを悪く感じる。 ●自然の恵みにフリーライド(ただ乗り)している ●森林資源がまちづくりに活用されていない ●松枯れなどが起きている ●豊富にある森林資源をまちづくりに活かし切れていない <ul style="list-style-type: none"> ●市民が自然の恵み・恩恵に敬意を表するとともに、まちづくりに活用していく ●松本の強みである自然に対する敬意と保全 ●森林資源のまちづくりへの活用 ●自然資源の循環を踏まえた都市計画 <ul style="list-style-type: none"> ●市民が自然の恵み・恩恵を実感し、大切にしている ●松本周辺の自然の恩恵を実感し、保全と活用を考える。 ●きれいなまちづくりに向けた市民行動の促進 ●自然の恵みを生かした経済活動の創出(エネルギーなどの自給自足など) ●メガソーラー、バイオマス、小水力発電の取組み ●晴天率の高さを活かした健康づくり ●湧水など水のセラピー ●森林資源を活かしたまちづくり ●森林資源の市街地での活用 ●市街地の緑化、土がある空間づくり <p>【都市環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然豊かな中で都市生活がおくれる ●自然があり、環境がよく、その上で都市生活もできることが松本の強み ●市街地のそばに浅間温泉があり、そのすぐそばに森林がある。森の香りがする。 <p>【農林業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●森林資源(木材)が活用できていない <p>【エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギー等を生み出す資源が豊富 ●松本の環境を活かし、再生エネルギーへの取組みを伸ばし、エネルギーの地産地消を進めていける。
担当課	総合戦略室